



園長だより

第5号



新渡戸文化子ども園
平成25年9月4日

「叱る」と「怒る」

「滑り台を反対から登ったら、滑ってくるお友達とぶつかって危ないから、お約束を守って階段から行きましょうね。」と、約束を守らない子にお話をします。

少しすると、また約束を破り同じように反対から登りました。

先生は今度は叱ります。「叱る」というのは、感情を入れずに約束を守れなかった事に対して注意をします。

少しすると、また約束を破り同じように反対から登り、上から滑ってきたお友達とぶつかり大けがになりそうでしたが無事でした。しかし、滑ってきたお友達は驚いて泣いています。そんなことにも平気でどこかへ遊びに行ってしまうました。

先生は今度は怒ります。「怒る」というのは、約束を守らないことで他人を傷つけてしまうかもしれないことを、感情を込め、親のように強く注意をします。

幼児期にしっかりと身につけなければならないとても大切な事の一つに「お友達を傷つけない」→「他人を傷つけない」があります。これは、どんな理由があったとしても

「ならぬことは、なりません。」

と、親心を持って「怒る」事をしなければなりません。

そう考えていくと、子ども達にとって耳の痛いことを言ってくれる大人は限られてきますね。一番は、親御さんと言えるでしょう。そして、先生もプロとして「叱る」と「怒る」を使い分けながら、親心を持って、伝えていきます。

<暑さ寒さも彼岸まで>

記録的な暑さの中での夏休みや、長時間保育利用のための通園。保護者の皆様には大変な事だったと思います。まだまだ暑さが続くようですので、お子様の水分の補給、降園後の休息としっかりとした睡眠がとれるようお願いいたします。

園では戸外での運動会の練習が始まりますので、ご家庭と連携をし、お子様の体調管理に努めて参ります。ご協力よろしくをお願いいたします。



「花火きれいだったな〜♪〜
楽しかったな〜♪〜ランラン♪」



子育て相談 ～子ども園相談室より～

ゲリラ豪雨が襲い、火の事故が相次ぎ、安全の大切さを痛感した夏でした。9月は学園全体での総合避難訓練を行います。お子様と一緒に安全について話し合う機会を持ち、安全に対する意識をご家庭でも高めていただければと思います。

暑さによる体の疲れで注意力散漫となり、大きな事故にも繋がってしまいがちな時期です。野菜、フルーツ、なんでもモリモリ食べ、元気な笑顔で「おはようございます。」が言えるといいですね。

